

 奉行Edge 身上異動届出クラウド

 奉行Edge 給与明細電子化クラウド

証憑保管 for 奉行シリーズ

起動するまでの手順書

目次

全体的な流れ	P. 1
1 『奉行製品』との接続	P. 2
2 「導入ガイド」等のダウンロード	P. 4
※ 『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は、 2 は必要ありません。	
補足：プロキシサーバーをご利用の方へ	P. 5

全体的な流れ

事前に

『奉行クラウド Edge』について

『奉行 LAND』と『奉行クラウド Edge』の環境構築を完了してから、以下の手順を進めてください。

連携する『奉行製品』について

連携する『奉行製品』で、データ領域を作成しておいてください。手順は連携する『奉行製品』の「ガイドブック」をご参照ください。

※プロキシサーバーを利用している場合は、奉行製品と接続する前に必要な設定があります。先に P.5 「補足: プロキシサーバーをご利用の方へ」の設定を確認してください。

<『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』の場合に、『奉行製品』側で事前に必要な設定>

■『勘定奉行』の場合

[導入処理] - [会計期間設定] - [会計期間設定] メニューの [基本設定] ページで、電子証憑の保存を「2: クラウド (証憑保管)」に設定します。

■『蔵奉行』の場合

[導入処理] - [運用設定] - [会社運用設定] メニューの【管理設定】 - [電子証憑設定] ページで、証憑保管の利用の「証憑保管を利用する」にチェックを付けます。

起動するまでの手順

1 『奉行製品』との接続

P. 2

当サービスにログインします。



サービスで接続情報をコピーし、『奉行製品』で貼り付けます。

2 「導入ガイド」等のダウンロード

P. 4

※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は、**2** は必要ありません。

1 『奉行製品』との接続

- ① 『管理ポータル』を利用できる利用者で、『奉行クラウド Edge』にログインします。



『奉行クラウド Edge』のログイン URL について
『奉行クラウド Edge』の導入処理開始通知メールに記載されています。
件名「【OBC iD】導入処理をはじめてください」

※ [法人情報]-[法人情報]メニューのメニュー権限がある利用者でログインしてください。

- ② 『管理ポータル』を起動します。



- ③ [法人情報]-[法人情報]メニューを開きます。



情報のコピー をクリック

- ④ 任意の「システム連携ID」を入力します。
※ 「システム連携ID」は、『奉行製品』と連携するためのIDです。
管理者用のIDとは別に、任意のIDを用意してください。



入力してクリック



クリック

- ⑤

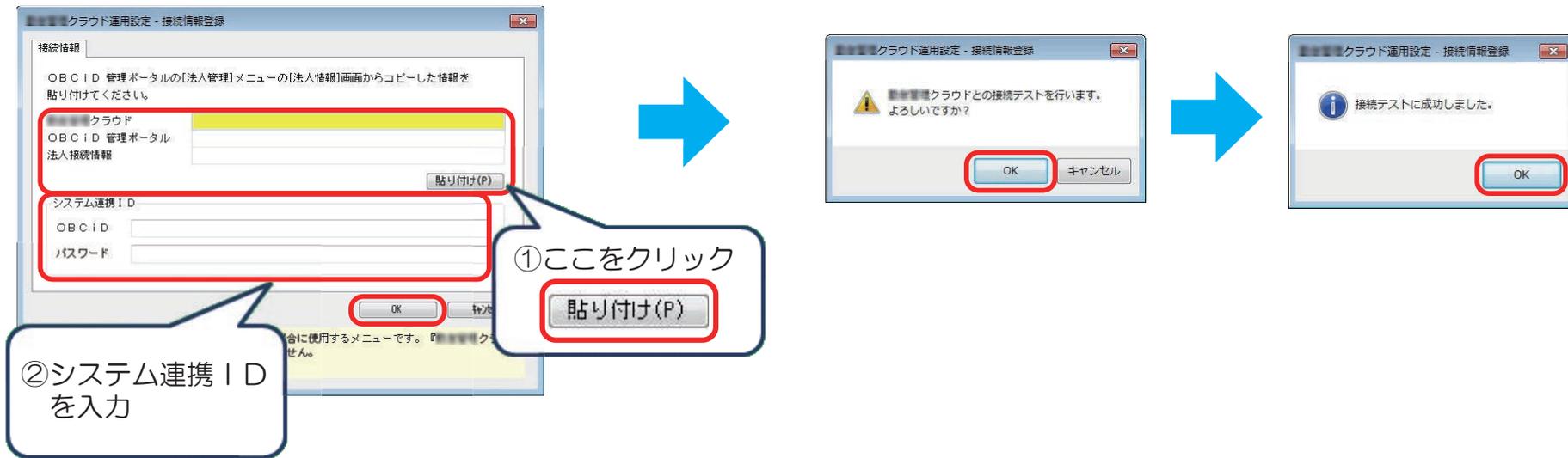


クリック

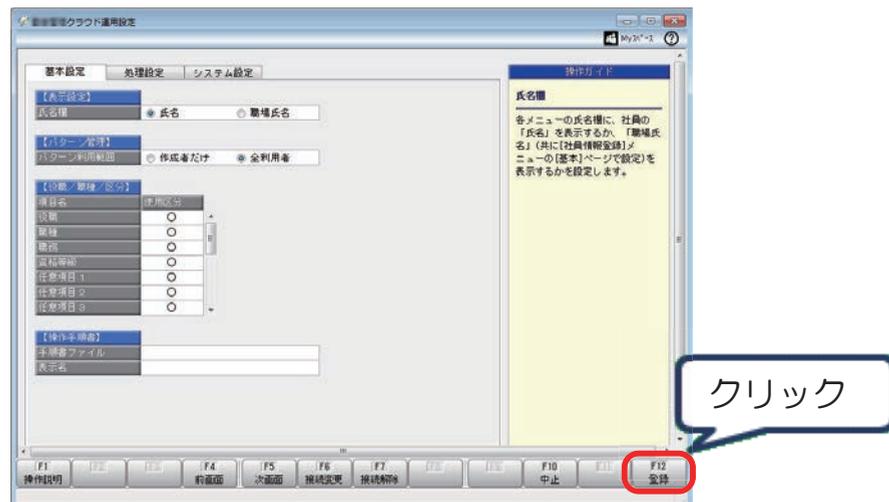
※上記画面が表示されない場合は、⑤へ進みます。

⑥ 『奉行製品』で以下のメニューを選択します。

- 『奉行 Edge 身上異動届出クラウド for 奉行シリーズ』 : 『人事奉行』の[導入処理]-[運用設定]-[身上異動届出クラウド運用設定]-[身上異動届出クラウド運用設定]メニュー
- 『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』 : 『給与奉行』の[導入処理]-[運用設定]-[給与明細電子化クラウド運用設定]メニュー
- 『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』 : 『勘定奉行』または『蔵奉行』の[導入処理]-[運用設定]-[証憑保管連携設定]メニュー



⑦ 下記の画面が表示された場合は、必ず【登録】ボタンをクリックします。
『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』の場合は、下記画面は表示されません。



以上で、「1 『奉行製品』との接続」の作業は完了です。

続いて、当サービスの導入作業に進みます。

ここからの作業は、奉行 Net サービスで当サービスの「導入ガイド」をダウンロードしてご確認ください。

「導入ガイド」のダウンロード方法は、次ページをご参照ください。

※ 『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は次ページ以降の作業は必要ありません。

2 「導入ガイド」等のダウンロード

※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は「導入ガイド」等のマニュアルはありません。

続いて、当サービスのマニュアルをダウンロードしてください。

①

<https://www.obcnet.jp/docdl/>

インターネットで、
こちらへアクセス



②

登録番号<※>と電話番号
を入力してクリック

<※>登録番号は、当サービス(『奉行クラウド Edge』用)の登録番号です。
(連携する『奉行製品』の登録番号ではありません。)

③

「導入ガイド」等をクリックして、ダウンロードします。

※提供されるマニュアルは、ご契約いただいたサービスにより異なります。



導入手順を記載しています。

続いて、「導入ガイド」に記載されている手順にしたがって、
当サービスの導入を進めてください。

補足：プロキシサーバーをご利用の方へ

当サービスは、『奉行製品』とインターネットを介して接続しています。

プロキシサーバーをご利用の場合は、『奉行製品』から当サービスに接続する際に、あらかじめ、『奉行製品』がセットアップされているコンピュータで以下の設定が必要です。

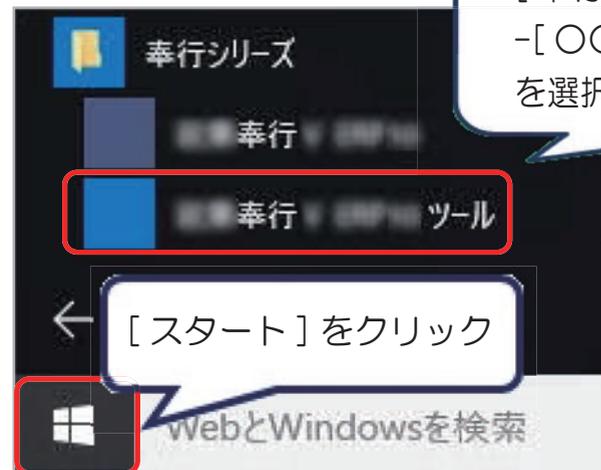
※プロキシサーバーを利用しているかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

注意



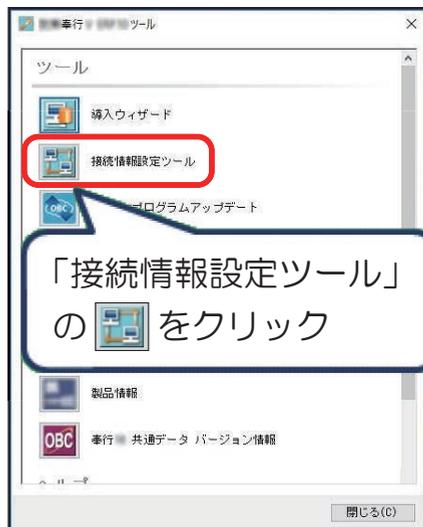
『奉行 11』の「ネットワーク版」と連携する場合は、『奉行 11』のサーバー用コンピュータで設定します。

①



※画面はOSや製品により、多少異なります。

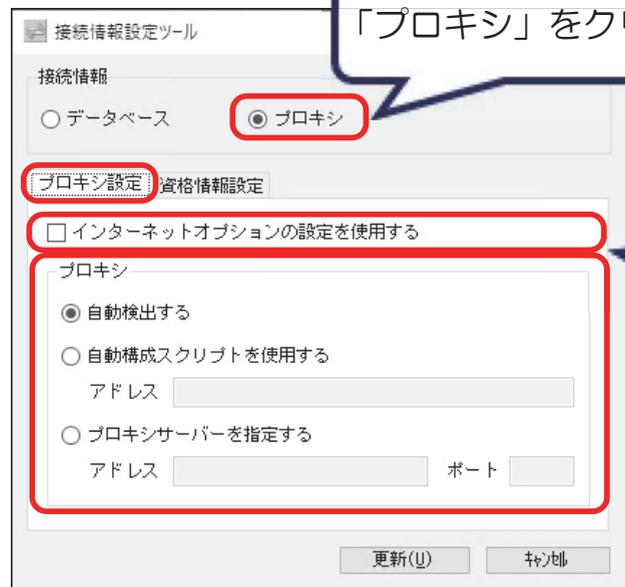
②



※画面は製品により、多少異なります。

※ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

③



[プロキシ設定] ページで「インターネットオプションの設定を使用する」のチェックを外し、プロキシサーバーへ接続する方法を設定します。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合は、続いて次ページへ進みます。

設定していない場合は、[更新] ボタンをクリックして設定作業が完了です。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合

接続情報設定ツール

接続情報

データベース プロキシ

プロキシ設定 **資格情報設定**

資格情報を設定する

資格情報

ユーザー名

パスワード

更新(U)

① [資格情報設定] ページを開き、「資格情報を設定する」にチェックを付けます。

② 「ユーザー名」と「パスワード」に、プロキシサーバーの認証に使うユーザー名とパスワードを入力します。

③ クリック

以上で、プロキシサーバーに関する設定の作業は完了です。

— 禁無断転載 —

2026年 1月23日 第22版

著者 株式会社オービックビジネスコンサルタント システム開発グループ
発行所 株式会社オービックビジネスコンサルタント 出版部

<https://www.obc.co.jp>
